



## 第12回 全国藩校サミット行田大会が開催されました



7月5日、「藩校教育の理念を今に活かす」をテーマに、産業文化会館で第12回全国藩校サミット行田大会が盛大に開催されました。全国から47の旧藩主や藩校教育者240人が参加した他、約800人の方が来場。江戸時代の藩校教育の素晴らしさを改めて知ることができた大会となりました。



①式典の様子 ②素読発表を行う児童たち ③神田紅さんによる記念講演 ④加地伸行さんによる講演会 ⑤古代蓮の里を訪れる藩校関係者

講師 神田

### 「人の道」「心の教育」を今に生かし、まちづくりや人づくりに生かす

藩校サミットは、江戸時代の藩校教育の精神や伝統を継承し、新しい時代の文化を創造することを目的に、毎年旧藩校所在地持ち回りで行っています。今年も、藩校「進脩館」のあった行田市が会場となり、埼玉県内では初めての開催となりました。大会では、藩主会議や藩校会議をはじめ記念講演などが行われた他、藩校教育の精神「人の道」「心の教育」を各地に広め、今後のまちづくりや人づくりに生かしていく「行田宣言」が採択されました。

また、今回のサミットでは、(公財)忍郷友会の協力の下、漢字文化の継承と豊かな言語感覚を養う「忍藩子ども塾素読教室」の塾生と埼玉小学校の児童約160人による「素読発表」を実施。児童たちは、漢詩と論語を約30分にわたり暗唱し、はつらつとした声が場内に響き渡っていました。

忍藩や進脩館の歴史や伝統を改めて振り返ることができた他、郷土愛をさらに深めることができた「全国藩校サミット行田大会」。行田のまちづくりや人づくりに大きく貢献したことでしよう。

### 行田宣言 (抜粋)

本日、私たちは「彩の国」埼玉県行田市に集い、「藩校教育を今に活かす」をテーマに、第12回目の全国藩校サミット行田大会を開催しました。この大会を通じて、各地の藩校の多くの関係者が、不断の努力と奉仕・報恩の思いで伝承されてきた藩校教育の伝統と精神に基づく活動を学び、認識を深めることができました。

行田は、藩校サミットの参加関係者各位との連携と次に繋がる活動を念頭に、藩校「進脩館」の教育を今後の人づくり、街づくりに活かしていくことを誓います。

私たちは、藩校が果たしてきた役割・精神と伝統を見つめ直し、手を携えながら、自らが「一燈照隅」の想いで出来ることを着実に実行していくこと、日本人の誇りを取り戻すこと、心豊かで明るい我が国と各地域の街づくりに貢献すること、及び次世代と未来に対して責任を負うことをここに宣言します。

▶問い合わせ ひとつくり支援課生涯学習担当 ☎556-8319

## 第2回行田市CMコンテスト開催決定

本市の魅力伝えるためには、実際に本市を訪れていただき、行田の素晴らしさを肌で感じてもらうことが重要です。昨年開催した第1回行田市CMコンテストに続き、今年も市制施行65周年記念事業として「第2回行田市CMコンテスト」を開催します。入賞作品は行田市のPR動画として活用する他、11月3日(月)に行われる「市制施行65周年・文化の日記念式典」で上映します。また、最優秀賞に選ばれた方(団体)には10万円を贈呈。趣向を凝らしたCMをお待ちしています。



▶応募資格 個人または団体のアマチュア・セミプロの方

▶賞 【最優秀賞(1点)】賞金10万円、賞状

【優秀賞(2点)】賞金3万円、賞状

【審査委員特別賞(1点)】賞金2万円、賞状

▶審査結果 10月中旬に審査を行い、審査結果は応募者全員に通知します。なお、11月3日に行われる「市制施行65周年・文化の日記念式典」で表彰・上映します。

▶注意事項

・一人また一団体につき、1作品までの応募とします。

・応募作品は、著作権(画像・音源・出演者)など必要な手続きを済ませてください。また、応募作品は返却しません。

・著作権は受賞者に帰属しますが、行田市は将来にわたり著作物の使用权を無償で使用するものとします。



詳細については、CMコンテスト専用の特設サイトを参照してください。

市ホームページトップページ右上のバナーをクリック

応募方法

9月30日(火)必着)までに、60秒程度のCMを収録したCD-RもしくはDVD-R(データ形式は原則として、wmv、mpg、avi形式)を持参または郵送で提出してください。【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市広報広聴課

## 観光パンフレットにスマートフォンをかざしてみよう

本市を訪れる観光客の皆さんに行田の魅力伝えるため、AR(拡張現実)技術を活用した魅力発信事業を開始しました。本市の観光パンフレット「お出かけガイド 魅力いっぱい行田」で紹介している観光スポットにスマートフォンをかざすと、動画で観光スポットが紹介されます。写真や文字に加え、映像やナレーションを通して、行田の魅力に触れることができます。



### ARってなに?

スマートフォンや携帯タブレットを紙面(パンフレットやポスター)などの特定の場所にかざすと、動画が視聴できるサービスです。

視聴できる動画は5種類!

①忍城

②埼玉古墳群

③古代蓮の里

④行田の足袋

⑤行田の祭り



閲覧期間 平成27年3月31日(火)まで

### スマートフォンで視聴するためには

①AR再生アプリ「junaio(ジュナイオ)」をApp StoreまたはGoogle Playストアでダウンロード(無料)してください。

②「junaio」を起動し、画面上の「scan」ボタンをタップした後、観光パンフレットの見どころスポットの①~⑤にかざすと、PR動画を見ることが出来ます。アプリ「junaio(ジュナイオ)」のダウンロードには右の二次元バーコードをご利用ください。



▶問い合わせ 広報広聴課広報広聴担当(内線318)